

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年4月9日(2015.4.9)

【公開番号】特開2014-29437(P2014-29437A)

【公開日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-008

【出願番号】特願2012-170486(P2012-170486)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 09 F 9/30 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 J

G 09 G 3/20 6 2 2 K

G 09 G 3/20 6 1 1 H

G 09 G 3/20 6 4 2 A

G 09 G 3/20 6 2 2 M

G 09 G 3/20 6 2 1 A

G 09 G 3/20 6 2 2 D

G 09 G 3/20 6 2 1 C

G 09 G 3/20 6 2 2 N

G 09 F 9/30 3 3 8

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月19日(2015.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

<1. 実施の形態>

【構成例】

図1は、実施の形態に係る表示装置の一構成例を表すものである。表示装置1は、有機EL素子を用いた、アクティブマトリックス方式の表示装置である。なお、本開示の実施の形態に係る駆動回路は、本実施の形態により具現化されるので、併せて説明する。この表示装置1は、表示部10および駆動部20を備えている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

具体的には、タイミングt11～t12の期間において、走査線駆動部23は、1水平期間(1H)ごとに、パルスSP1を各走査線WSL1に対して順次供給するとともに(図4(A))、パルスSP2を各走査線WSL2に対して順次供給する(図4(B))。電源線駆動部24は、走査信号WS1, WS2におけるパルスSP1, SP2に同期する

電源信号 D S を、各電源線 P L に順次供給する（図 4（C））。そして、データ線駆動部 2 5 は、走査信号 W S 1 におけるパルス S P 1 に同期して、フレーム画像 F ( 2 n - 1 ) に基づく画素電圧 V sig をデータ線 D T L に供給する（図 4（D））。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

次に、タイミング t 1 2 ~ t 1 3 の期間において、走査線駆動部 2 3 は、1 水平期間 ( 1 H ) ごとに、パルス S P 2 を各走査線 W S L 1 に対して順次供給するとともに（図 4（A））、パルス S P 1 を各走査線 W S L 2 に対して順次供給する（図 4（B））。電源線駆動部 2 4 は、走査信号 W S 1 , W S 2 におけるパルス S P 1 , S P 2 に同期する電源信号 D S を、各電源線 P L に順次供給する（図 4（C））。そして、データ線駆動部 2 5 は、走査信号 W S 2 におけるパルス S P 1 に同期して、フレーム画像 F ( 2 n ) に基づく画素電圧 V sig をデータ線 D T L に供給する（図 4（D））。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

図 5 は、パルス S P 1 が供給された画素 1 1 における動作のタイミング図を表すものであり、（A）は走査信号 W S の波形を示し、（B）は電源信号 D S の波形を示し、（C）は信号 S ig の波形を示し、（D）は駆動トランジスタ D R T r のゲート電圧 V g の波形を示し、（E）は駆動トランジスタ D R T r のソース電圧 V s の波形を示す。図 5（B）～（E）では、同じ電圧軸を用いて各波形を示している。なお、走査信号 W S ( 図 5（A） ) は、その画素 1 1 が走査線 W S L 1 に接続されている場合には走査信号 W S 1 に対応し、その画素 1 1 が走査線 W S L 2 に接続されている場合には走査信号 W S 2 に対応するものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

まず、タイミング t 2 1 ~ t 2 2 の期間において、表示装置 1 A の走査線駆動部 2 3 A は、1 水平期間 ( 1 H ) ごとに、パルス S P 1 を各走査線 W S L 1 に対して順次供給する（図 1 0（A））。その際、走査線駆動部 2 3 A は、上記実施の形態の場合（図 4（B））と異なり、各走査線 W S L 2 に対してパルス S P 2 を供給しない。また、タイミング t 2 2 ~ t 2 3 の期間において、走査線駆動部 2 3 A は、1 水平期間 ( 1 H ) ごとに、パルス S P 1 を各走査線 W S L 2 に対して順次供給する（図 1 0（B））。その際、走査線駆動部 2 3 A は、上記実施の形態の場合（図 4（A））と異なり、各走査線 W S L 1 に対してパルス S P 2 を供給しない。